

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月9日 (2014.10.9)

【公表番号】特表2013-536238(P2013-536238A)

【公表日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2013-526087(P2013-526087)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 L 2/52 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/28

A 2 3 L 1/30 Z

A 2 3 L 2/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月22日 (2014.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エタノールへの暴露によって起こる G A B A_A R 可塑性に関連するアルコール中毒およびアルコール使用障害を治療する、抑制する、低減するおよび / または逆転させるのに使用される、エタノールに暴露される、暴露されているおよび / または暴露された G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物。

【請求項 2】

前記 G A B A_A 受容体の活性を増強するために G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物。

【請求項 3】

前記 G A B A_A 受容体に対するエタノールの作用に拮抗すべく、エタノールへの暴露前、暴露中および / または暴露後に G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物。

【請求項 4】

対象のエタノール中毒、アルコール離脱症候群の症候、アルコール使用障害および / またはアルコール乱用を治療する、抑制するおよび / または低減するための、請求項 1 ~ 3

のいずれか 1 項に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記アルコール離脱症候群の症候が、エタノールに対する耐性、基礎不安の増加、および過剰興奮性からなる群から選択されることを特徴とする組成物。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記治療が前記エタノールへの暴露によって起こる前記対象の注意力の低下を低減するまたは抑制することを特徴とする組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記ジヒドロミリセチン組成物が有効量投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記ジヒドロミリセチン組成物がエタノールへの暴露前、暴露中および/または暴露後に投与されることを特徴とする組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記ジヒドロミリセチン組成物が飲料などの食品の形態で投与され、前記食品がエタノールを含有しても含有しなくてもよいことを特徴とする組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の G A B A_A 受容体に投与されるジヒドロミリセチン組成物において、前記ジヒドロミリセチン組成物がエタノールと併用投与されることを特徴とする組成物。